

平成31年度
射水市公募提案型市民協働事業審査会



日 時 : 平成31年2月3日(日) 午後2時00分
場 所 : 射水市役所 3階302・303会議室

射水市市民生活部
地域振興・文化課

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 審査委員の紹介及び進行説明等

4 提案団体によるプレゼンテーション

小杉まちづくり協議会

(「We Love 右門」 - 生誕 300 年の記念すべき年に -)

特定非営利活動法人 水辺のまち新湊

(ふるさと再発見「甦れ内川！ - 魚・水・環境 -)

富山福祉短期大学

(学校における性の多様性に関する理解促進事業)

のじた踊り屋台保存会

(のじた盆踊り継承事業)

5 閉会

1 射水市公募提案型市民協働事業審査会スケジュール

14:00～	<p>審査会開会 (場所：射水市役所 3階302・303会議室)</p> <p>あいさつ</p> <p>審査委員の紹介及び進行説明等</p>
<p>14:15～</p> <p>15:35</p>	<p>提案団体によるプレゼンテーション〔4団体〕</p> <p>提案書が受理された受付順に発表</p> <hr/> <p>1 小杉まちづくり協議会 (「We Love 右門」 - 生誕 300 年の記念すべき年に -)</p> <p>2 特定非営利活動法人 水辺のまち新湊 (ふるさと再発見「甦れ内川！ 魚・水・環境 」)</p> <p>3 富山福祉短期大学 (学校における性の多様性に関する理解促進事業)</p> <p>4 のじた踊り屋台保存会 (のじた盆踊り継承事業)</p>
15:35	審査会閉会

2 発表方法

- ・発表時間は、1団体7分間とします。
- ・発表開始後6分経過時にベルを1回、7分経過時に2回鳴らします。
- ・発表後の審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・質疑応答開始後7分経過時にベルを1回、8分経過時に2回鳴らします。

3 審査基準

項目	審査ポイント
課題解決	地域課題や市民ニーズを捉えたものであるか。 公益性・社会貢献的な事業であるか。 募集のテーマに沿った事業内容であるか。
協働の効果 事業の効果	協働の役割分担が明確かつ妥当であるか。 協働で実施することにより、相乗効果が期待できるか。 市民の満足度が高まり、具体的な効果や成果が期待できるか。
事業の実現性	計画どおりに事業実施が可能であるか。 市が実施するより、サービスの向上が図られるか。 予算の見積もり等が適正であるか。
提案団体の実施能力	事業を実施する上での専門的な知識や経験を有し、提案事業の実施が可能であるか。
先駆性・独自性	新しい視点から取り組む事業であるか。 工夫やアイデアが盛り込まれているか。
自立性・持続性	自己努力による資金確保に努めているか。 自立的に発展していくことが期待できるか。 継続性を期待できるか。

4 採択事業の決定

提案事業の採否は、後日審査結果を基に市長が決定します。

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 小杉まちづくり協議会

事業の名称	「We Love 右門」 - 生誕300年の記念すべき年に -	
事業の目的	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>地域が抱える課題で最も喫緊のものはコミュニティの再構築であると考えています。私たち小杉まちづくり協議会は、「歴史と文化のまちづくり」を掲げてまちづくりを進めていますが、まだまだ十分な取り組みにはなっていないと考えています。ついては、今回歴史にスポットを当てて江戸中期に活躍した藤井右門を取り上げたまちづくりを計画しました。組織内において既に歴史愛好会がこれまでの堅いイメージを打ち破り人間味あふれるアクティブな姿が右門の実態を掘り起こしています。日本史上でも輝く業績を残した右門の人物像を市民と共に広く共有してこれからのコミュニティの強化に寄与していくことが目的です。</p>	
事業内容 （複数の事業がある場合は別紙添付でも可）	対象	<p>（誰を）</p> <p>射水市民全体を対象とする。とりわけ小杉地区住民、なかでも市内小学生を対象として事業構成する。</p>
	手法	<p>（いつ、何を、どのように等）</p> <p>目的が藤井右門について知り、愛情を持ち、共感しその輪を広げるということにあるので、そのための事業を系統立てて進める。</p> <p>紙芝居作成公演</p> <p>2019年度から継続的に</p> <p>開催場所 市内小学校（小杉地区学校から順次広げていく）</p> <p>駅等の公共施設で開催、イベントへ参加し開催</p> <p>藤井右門の人となりを示す舞台劇の制作上演</p> <p>タイトル「明治維新の源流を創った男 藤井右門」全3幕</p> <p>立志編 激動編 維新へのバトン編</p> <p>シナリオ作成、出演者公募（20名程度）演劇練習会</p> <p>舞台本番は、生誕300年である2020年を予定（8月）</p>
	目標	<p>（具体的な指標、数値目標等）</p> <p>紙芝居は 全小学校、全コミュニティセンターで開催</p> <p>市内各種イベントに積極的参加 その他</p> <p>舞台劇には、聴衆500人以上の集客を達成する。</p>

<p>協働事業として 取り組むことの 必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>私たちの組織は、まちづくりを進めていくことを旗印にしていますが、その基盤としてのコミュニティ強化は、地域福祉、防災対策その他を考えたとき極めて重要なことであると考えています。今回の事業は、「藤井右門」という偉人伝を切り口としてコミュニティの一体化、強化をも狙うもので、行政と地域の役割分担による官民協働を進めていくための有効な試みになるものと考えている。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>提案団体は、組織内に当該事業のためのPTを組織し、更には、三ヶ、戸破両地域振興会と連絡を密にし、魅力的なコンテンツを作成するとともに、この事業に一人でも多くの市民が参加、参画できるよう精力的に取り組めます。</p> <p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>市には、幅広い広報戦略でご協力をいただければと考えます。</p> <p>三ヶ、戸破の両地域振興会については、今事業実施中心メンバーのほとんどがその組織での役員も兼ねており、意思疎通を図りつつ進めていくこととしている。さらには、紙芝居等については、実地での上演前には地域振興会において試験公演をして修正点を是正し本番に臨むことを計画しており、十分な連携を図り進めていくこととしている。</p>
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>2018年度 構想および紙芝居素材準備 右門関係学習会定期開催</p> <p>2019年度 紙芝居本制作 公演 小杉地区小学校、各種イベント参加公演 芝居脚本作成 芝居キャスト公募 芝居練習(下期) 右門関係学習会定期開催(現地調査も含めて)</p> <p>2020年度 紙芝居上演 小杉以外地区小学校 各種イベント参加 小杉地区コミュニティセンターでの公演 芝居練習(上期) 芝居上演(ラポールで8月を想定) 右門関係学習会 定期開催</p> <p>2021年度 紙芝居 小杉以外地区コミセンでの公演</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <p>ふるさと意識の高揚(コミュニティの強化)</p> <p>地域活性化、地域イベントとの相乗効果</p> <p>ふるさと学習の推進強化</p> <p>小杉福社会館リニューアル、下条川との一体的活性化基盤の創出</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>私たちの活動は、あくまで歴史上の偉人を次々と取り上げ市民と情報共有し、私たちの射水人としてのアイデンティティを高めていこうとするもので、この3年間で藤井右門を終えた後にもふるさとの偉人発掘あわせて市民との情報共有による地域活性化を進めていくことを考えています。具体的には、青井忠治、片口江東、竹内源造などを今後の候補として考えています。</p> <p>根無し草ではない、しっかりと歴史を誇れるまちづくりを進めていきます。</p>

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人水辺のまち新湊

<p>事業の名称</p>	<p>ふるさと再発見 「甦れ内川！ 魚・水・環境」 （内川で”釣り“を楽しみ、内川環境美化に取り組む活動）</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ） 美しい内川の水辺環境と生態系（内川に生きる魚・水鳥等）を守りつつ、内川が持つ日本の原風景的情景を残す活動に取り組む。 また、内川、及び内川周辺が抱える課題に取り組み協力できる支援者を育成する。</p>	
<p>事業内容 （複数の事業がある場合は別紙添付でも可）</p>	<p>対象</p>	<p>（別紙添付）</p>
	<p>手法</p>	<p>（別紙添付）</p>
	<p>目標</p>	<p>（別紙添付）</p>
<p>協働事業として取り組むことの必要性</p>	<p>（団体や行政の特性から説明してください。） ・昔、放生津小・新湊小の子供達にとって、内川での遊びは当たり前でした。親が子供に掛ける言葉は、昔、「危ないから注意なさい」でした。それが今、「危ないから、汚いから行っちゃダメ」という言葉になっていて、親や先生は内川で子供が遊ぶことを積極的に勧めたりはしません。 今回提案する事業は、民間団体が単体で行えば一過性の「内川のイベント」で終わる可能性があります。 しかし、市行政との協働事業として取り組み協力を得られれば、内川の環境問題、現存する課題にまで市民の目を向けることができます。また、子供達に「親水」という言葉を理解してもらえる機会にもなると思います。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割)
	<ul style="list-style-type: none"> ・内川の景観・環境を守り内川周辺の活性化を図る事業の一環として、企画運営の役割を果たす ・清掃活動、釣り竿作り講座、魚釣り大会、内川講座への参加呼びかけ(ポスター、ちらし、SNS)
	(事業実施に伴う市の役割)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり助言、協力 ・水質、水の流れに関する講師情報の提供 ・市広報誌でのPR
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(別紙添付)
事業効果	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動に参加することにより捨てられるゴミ、浮遊するものを知る ・内川に繫留される漁船には廃船になっている船もあることを知る ・昔ながらの和竿づくりが体験できる ・内川で魚釣りを楽しむ子供達・・・昔の光景が甦る ・釣れる魚が川魚か？ 海魚か？ 楽しみながら内川を知る ・内川の水質、流れ、環境を知る機会となる ・内川の環境保全から景観保全にも目を向けてもらえる
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの内川魚図鑑を市内小学校に配布する ・内川の環境保全・景観保全活動に参加してくれる若い人を増やす

添付資料

様式第2号（第6条関係）

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人水辺のまち新湊

事業の名称 ふるさと再発見 「甦れ内川！ 魚・水・環境」
（内川で”釣り“を楽しみ、内川環境美化に取り組む活動）

事業の目的

美しい内川の水辺環境と生態系（内川に生きる水鳥・魚等）を守りつつ、内川が持つ日本の原風景的情景を残す活動に取り組む。

また、内川、及び内川周辺が抱える課題に取り組み協力できる支援者を育成する。

【趣旨】

内川に掛かる中新橋の上から多くの子供達が釣竿を垂らす古い懐かしい写真（昭和29年）が残っています。昔、内川では至る所でこのような光景が見られました。このような光景を甦らせてみたい！

1961年、放生津潟湖を掘削し港口を広げて富山新港が造成されたことにより内川の上流が海と繋がった影響で流れが停滞したことや、放生津潟周辺の湿田が乾田化されたこと外様々な要因が重なり、高度成長期の1970年代前半頃には内川の水質は著しく悪化しました。

それにより、子供達が内川で釣っていたフナ、グズ（ハゼ）、ガマンガ（川蝦）、モッコ蟹（川蟹）、うなぎや海より遡上する海魚の姿は見られなくなりました。

地域住民からは河川浄化が叫ばれ、1980年以降庄川から導水する浄化対策が進み、今現在、汚濁は少しずつ解消されてきたように見えます。

ただ、川の遊歩道を歩いてみると、「ゴミが捨てられている」、「ペットボトルが浮いて流れている」、「廃船が川の中に沈んでいる」という悲しい負の側面が見えてきます。その一方で、「魚が泳ぎ、鴨が泳いでいる」、「繫留されている漁船の上で飛来した珍しい鳥が羽を休めている」等の嬉しくなる正の側面も見られます。

内川は『日本のベニス』と言われていますが、その由来を調べてみると、日本政策投資銀行の藻谷浩介氏が内川を訪れた際に、内川を『日本のベニス』と呼んだことが始まりのようです。

内川には12基の個性的な橋が架けられ、川に寄り添うように建つ家並み、繫留される幾艘もの漁船が織りなす情景には日本の原風景とも言えるような懐かしさを感じます。今、その懐かしさ溢れる情景は訪れる多くの人に感動を与えています。

川べりの遊歩道の散歩を楽しむ人がいます。ジョギングを楽しむ人がいます。カメラを構え写

真を撮る人がいます。絵の題材としてスケッチをする人がいます。

「この情景をいつまでも残したい！」

「内川が持つ日本の原風景的情景を残す」には、内川の景観保全と共に環境保全にも目を向けなければなりません。

ふるさと再発見 「甦れ内川！ 魚・水・環境」では、まず現況を広く知って理解してもらい、清掃活動に携わってもらい、川で魚釣りをして楽しんでもらい、その結果、景観と環境保全を活かしたまちづくり活動に繋げていくこと、さらに課題解決に向けた取り組みについて協力できる支援者を育成することを目的とします。

事業内容

事業目的達成のために啓発に繋がるイベント行事の開催、講演を開催

内川を市民と共に清掃する

親子で竹竿づくりワークショップの開催

内川釣り大会

川にどのような魚がいるか？ 川魚？ 海魚？ 魚の名前？

生態系調査

内川講座の開催

水の流れ、水質を学ぶ

（講師案）

奥川光治 富山県立大学准教授（水質環境工学）

手計太一 富山県立大学准教授（水理学／河川工学）

対象（誰を）

参加協力団体

- ・内川周辺自治会
- ・放生津&新湊地域振興会
- ・各種団体（ライオンズクラブ、ロータリ-クラブ、青年会議所等）

一般公募（市内全域、市外）

- ・内川に興味のある人
- ・魚釣りに興味がある人
- ・内川の景観を守りたい人
- ・内川の水環境を守りたい人

アドバイザー依頼

- ・富山県立大学、学校関係、市役所、公認釣イストラクター、市内釣具店

手法（何を、どのように）

環境保全活動

5月・・・春の内川清掃（船舶使用）

9月・・・秋の内川清掃（船舶使用）

内川釣り大会親子講座

5月：第1回 竹竿の作り方講座

- ・本格的な竿（9尺竿・昔ながらの和竿）づくりに挑戦、
- ・半分に切った竿を用意しワークショップで継ぎ合わせる作業
- ・仕掛けづくり作業

6月：第2回 魚の釣り方、マナー、注意点を学ぶ

8月：第3回 魚釣り大会 + 内川ゴミ拾い

10月：第4回 魚釣り大会 + 内川ゴミ拾い

12月：第5回 講座 「手づくり内川魚図鑑」を作る

内川講座

2月：内川講座の開催

「水の流れ・水質」を学ぶ

目標

参加目標

- ・自治会関係 : 50名
- ・各種団体関係 : 20名
- ・一般公募 : 30名
- ・釣竿作り : 60名（親子＋一般＋学生）
- ・釣り大会 : 100名（2回）
- ・アドバイザー : 5名（釣竿作り、内川講座）

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 富山福祉短期大学

<p>事業の名称</p>	<p>学校における性の多様性に関する理解促進事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>性同一性障害や同性愛などの性的マイノリティ(LGBT)は、人口の5%程度であるとされている。</p> <p>性自認や性的指向に悩む子供の多くは、男女に二分化され異性愛が前提とされる学校の中で、誰にも相談できずにいるケースが多く、そのような子供たちの中には、不登校になったり、いじめの被害にあったり、自殺を考える子供も少なくない。</p> <p>本事業は、性の多様性について教職員が見識を深める機会づくりと、子供達の学びの機会づくりを合わせて行い、全ての子供にとって居心地の良い環境づくりの一助となることを目的に実施する。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(誰を)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の子供たち ・市内小中学校の教職員
	<p>手法</p>	<p>(いつ、何を、どのように等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ポスター(小中学校掲示用)と啓発パンフレット(教職員向け)の作成。 【4月～8月作成、9月配布(予定)】 ・教職員(養護教諭)への研修会...8月から随時実施予定 講師:レインボーハート富山 内容:「LGBTについて」、「教職員ができること」 ・多様な家族と性のあり方に関する授業 対象:小学生(4年生または5年生) 学年全体で実施予定 時間:45分(1回)
	<p>目標</p>	<p>(具体的な指標、数値目標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターとパンフレットの配布 ...市内全小中学校(小学校15校、中学校6校) ・教職員への研修会1～3回、1回30分程度 ・小学校での授業...1～2校

<p>協働事業として 取り組むことの 必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と協働で性の多様性の理解促進について取り組むことにより、小中学校教職員との連携がしやすく、また子どもや保護者、教職員等へ配慮した啓発活動を行うことができる。
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、パンフレットの作成 ・研修会や授業の企画・運営 ・レインボーハートとの連絡調整 ・小学生への授業の企画・実施
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へのポスターとパンフレットの配布 ・研修会の日程調整 ・授業の連絡調整
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～8月 ポスターとパンフレットの作成 ・8月以降 研修会 ・9月 ポスターとパンフレットの配布
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが性の多様性を学ぶことにより、男らしさや女らしさに関連するいじめの軽減や、性自認や性的指向で悩む子どもが安心して学校生活を送ることができる。 ・教職員の方が性の多様性について知ることにより、子どもたちが相談しやすい環境を作ることができる。保護者への支援にもつながる。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性の理解は、言語や国籍や宗教、肌の色などの異なる人の生活の理解につながり、それぞれの違いを認め、違う良さを活かした住みやすい市になることが期待できる。 ・本事業はH31年の単年の計画で行い、H32年度以降の事業については、H31年の事業を鑑みて検討する予定である。

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 のじた踊り屋台保存会

<p>事業の名称</p>	<p>のじた盆踊り継承事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては音頭屋台を中心に約 1 0 0 m の輪が 2 ~ 3 重になり、踊り手だけでも数百人を数えるくらい盛大に行われていたのじた盆踊りの復活で、伝統のある楽しいのじた踊りを継承していくと共に昭和 55 年に造られた音頭屋台を保存・活用していく。 	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(誰を)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放生津校区、新湊校区を中心に全射水市市民
	<p>手法</p>	<p>(いつ、何を、どのように等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のじた踊り講習会の実施 (年間を通して) <p>射水市民 (子供から高齢者まで) を対象に、2 0 名程度の参加者を募集し、第 1、第 3、月曜日に午後 7 時から 8 時 3 0 分まで、のじた踊り保存会の指導の下、講習会を実施する。</p> ・各小学校での踊りの指導 <p>のじた踊り保存のメンバーが、放生津、新湊小学校の 3 年生に体育の時間に出向き、のじた踊りの指導を行なうと共に、のじた踊りの楽しさ、地域文化の大切さを教える。</p> ・各種団体等の実施するイベントへの参加協力 <p>市内全域で開催されるイベントでのじた踊りを披露し、PR する。また、イベントに参加した興味のある方に対して、講習会、のじた踊り大会への参加を促す。</p> ・のじた踊り大会の実施 <p>8 月 3 日に、内川べりの川の駅新湊周辺において、のじた踊り大会を開催し、講習会参加者の披露の場と位置づける共に、市内外から多くの人にも見学していただくことで、地域の賑わい創出につなげる。</p>
	<p>目標</p>	<p>(具体的な指標、数値目標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のじた踊り講習会参加者 延べ 2 0 0 人 ・のじた踊り大会 参加者 300 人 見学者 500 人 ・各小学校での指導 現在の放生津・新湊小学校から旧新湊全小学校へ

<p>協働事業として 取り組むことの 必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては新湊市や射水郡の一带に盆踊りとして伝えられてきたのじた踊りですが一部の地域では忘れられつつある現状を、新湊のじた保存会やのじた踊り屋台保存会が中心に継承と普及に努めて郷土芸能として定着させるため。 <p>この目的に向かって、行政と協働事業に取り組む事で効果的な PR や効果的な運営が図られる。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のじた踊り盆踊りの実施主体として、企画運営等の行動全般 ・ 盆踊り当日への参加推進 (ポスター、チラシ等の作成、広報周知活動) ・ のじた踊り講習会の開催及び講師派遣 <p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっての協力、助言 (港湾観光課) ・ 広報いみず等で広く射水市内外に P R
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 ポスター、チラシの作成、配布 <p>配布先は、市内全コミュニティセンター及び公共施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月から 7 月 のじた踊り講習会の実施 月 2 回 各週月曜日 ・ 8 月 のじた踊り盆踊り大会 ・ 10 月から 3 月 のじた踊り講習会の実施 月 2 回 各週月曜日
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 射水市民の一体感の醸成と、地域の活性化 ・ 地域の伝統文化の継承や郷土愛の醸成・高齢者が子供たちにのじた踊りを指導することによる生きがいづくりや世代間交流 ・ 本事業で生み出される一体感はさらなる地域活性化の原動力となり、郷土愛が生まれることで市民はこの地を愛し長く住み続けたいと感じるようになります。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民協働事業の終了後も、のじた踊り講習会および学校での踊りの指導を継続して実施するとともに、毎年 8 月に、のじた踊り盆踊り大会を開催し、のじた踊りの裾野を広げ、のじた踊りの継承を図る。 <p>さらに、のじた踊りを覚えた子供たちが、高齢者等にのじた踊りの逆の世代継承を促し、全世代に地域文化「のじた踊り」に親しんでいただく</p> <p>2019年4月の新湊のじた保存会の総会の後で、新湊のじた保存会とのじた踊り屋台保存会が統合して、今日まで新湊のじた保存会が行っていた事業ものじた踊り屋台保存会が継承していく。</p>

射水市市民生活部 地域振興・文化課

〒939-0294 射水市新開発4 1 0 番地 1

TEL : 0 7 6 6 - 5 1 - 6 6 2 2

FAX : 0 7 6 6 - 5 1 - 6 6 5 4

E-mail : chiikibunka@city.imizu.lg.jp

